

平成26年1月31日

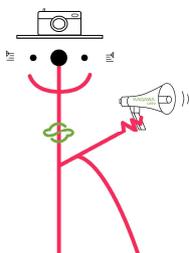
体育専攻学生による体罰問題についてのディベート大会の開催について

このディベート大会は、本年度の「体育社会学」の授業の最終評価活動（テスト）の一貫で行われます。思考力・判断力・表現力の育成が求められる中、本年度は、2～3名のチームによるグループ協同学習を目指してきました。最終評価をディベート形式で行います。

テーマは、「体罰」です。これから教職につく者として、また体育・スポーツに関わっていく者として、避けて通れない課題を様々な角度から検討してきました。例えば、伏見工業ラグビー部の山口良治先生の教育実践の特徴をチームで分析したり、桜宮事件の資料を分析し比較したり、また文科省や各教委などが打ち出している体罰対策を分析したりしてきました。さらに中高で指導してもらった恩師（部活指導者）にインタビューも行い、現状と課題を学生らなりに整理しています。

1. 日時 平成26年2月13日（木）8：50～10：20
2. 場所 高松市幸町1番1号
香川大学教育学部第8号館1階 演習室2
3. テーマ 「体罰対策 三本の矢 を策定しなさい！」（下記のいずれかの立場を選択）
立場①文科省として各県教委に対応策を通達
立場②教委として各学校に対応策を指示
立場③競技団体として競技指導者に対応策を指示
立場④学校管理者として各教員に対応策を指示
提起班 策定内容をプレゼン（5分）
他3班が指示を受ける側として「反論」を検討（5分）
他班からの「反論への反論」を検討（5分）
提起班からの「反論への反論」が提示された時点で終了
（以上、20分程度のディベートを4班分繰り返します）

策定する対策内容には、あえて批判されることを覚悟した大胆な内容を一つは盛り込むように指示しています。これまで学習してきたこと、収集整理してきた資料などをつなぐ考察力、即座の思考力・判断力・表現力をもって、評価すると伝えています。尚、当日は池田義幸先生（香川県体育協会主事：元屋島中学校校長）をお招きし講評いただきます。大学教育の新しい取組をご参観ください。



[本件に関する連絡先]

香川大学教育学部教授

野崎 武司

TEL：(087)－832－1496

E-mail：nozaki@ed.kagawa-u.ac.jp